

令和2年度 事業実績報告書

社会福祉法人 窓 ふじの子保育園

1. 園児の確保

(1) 園児数

	定員	組数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	1	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	9	1	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
2歳児	10	1	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3歳児	10	1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	134
4歳児	12	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
5歳児	13	1	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	147
計	60	6	61	61	61	60	60	60	60	60	60	60	61	61	725

入退所状況 6月30日 退園 5歳児

2月1日 入園 3歳児

(2) PRの方法

- ・ホームページで園運営を閲覧し、関心を持って園見学に来られる。園児たちの笑顔や、活動内容(行事、子育て支援、専任講師によるとりくみ)を説明することによって、いろいろな体験をしていることに感心され、是非入園したいという希望がある。在園児の保護者の方より話を聞いて来られる事も多々ありふじの子ホールにも興味を持って来られる方がある。

(3) 入園の方法

- ・入園申込書を藤井寺市保育幼稚園課に提出。入園決定後当園で保護者面談をし、アレルギー体質、健康面を詳細に懇談する。特にアナフィラキシーは、命にかかわりますので委託業者の管理栄養士の方にも参加してもらい詳細なうち合わせと同時に乳児の離乳食、ミルクの量・時間などの話し合いを持った。その他こだわりの食事内容を持っておられる方にも時間を取り、納得できる話し合いができ、互いに子どもの健康、食べる楽しみを優先に考えた。

2. 教育、研究の推進

(1) 保育目標

- ・「子どもは宝」の基本理念をどのように理解し、子どもと接することができるのかレポートを提出し、全職員内容をコピー、職員会議で討論した。理事長先生からは、“この年令では無理ではないか”とか副園長先生からも“小集団所属感の有無”と“私とあなた”のくくりで全職員の子どもは宝のとらえ方を示唆していただいた。一度の会議では理解できにくい何回か繰り返し話し合いをすることによって、“子どもは宝”の基本理念が分かってくるのではないと思われる。

(2) 教育課題

- ・年3回の指導計画、園評価を話し合い、保育が子どもにとって十分満足感を味わえる生活が送れるよう検討できていた。

(3) 研究課題

- ・今年度は“体育”の充実を図り、保育者の専門性及び保育の質の向上にとりくんだ。体育講師、佐藤津良先生の助言をいただきながら保育者が各年齢に応じたとりくみをした。基本的には、体幹をととのえ怪我をしない体づくりをもとに最高学年5歳児では群れ遊びができ、子どもどうしの話し合いを持つことができていた、

3. 職員構成

	令和2年度	備考
園長	1	
副園長	1	
主任保育士	1	
保育士	9	内1名 産休代替え
保育士(パート)	5	内1名 看護師
事務長	1	
事務員(パート)	2	内1名 12月末退職
調理担当	3	業者委託

4. 施設、設備の整備

(1) 教育研究機器、備品

- ・ふじの子ホール使用の電子ピアノ・カーテン・靴箱を整えたことにより使用密度が高くなった。
- ・視力検査機・聴力検査機を保育者自身使いこなすことにより子どももリラックスしてできた。

(2) その他

- ・ゴザ、防災シューズ園児数十分そろえられたので避難訓練が全員参加の体制が整えられた。飲料水は、茶道に使い新鮮な飲み物が提供できるようにした。非常食は、散歩の時のおやつとしたり 防災訓練の時に実践して食べたりして期限切れにならないように注意している。

5. 収支計画

令和2年度補正予算案参照

- (1)延長保育は同じ顔ぶれの園児なので安心して生活している。特に夕方の延長保育児の保護者は疲れてのお迎えなので子どもも帰りをしぶぶたりする。
- (2)短時間保育児の制度ができ、保育時間変更をすることにより登園時間がスムーズになった。
- (3)子育て支援の活動を通じて集団生活の楽しさを知らせる事ができている。
- (4)絵画、英語、体育、リトミックの専任講師を招へいすることによって子どものいろいろな体験を充実でき、保護者からも感謝の気持ちを伝えられている。
- (5)基本的な生活習慣を整える環境をつくることにより、子どもたちの体幹が整えることができ特に“ふじの子スポーツ力くらべ”で成果を発揮することができた。
- (6)理事長懇談やその他の会議の充実を図ることによって、保育者同士、役割分担の職員とのコミュニケーション力が高まり保育内容が充実した。

(7)ふじの子保育園の特徴の活動内容のレベルが上がり次のステップに見通しをもてた。

(8)ふじの子ホールの存在は、このコロナ禍で充分な役割をしている。雨の時でも寒い時でも暑い時でも充分な換気と衛生に配慮しながら子どもたちもしっかりと心身共にたくましく育んでくれたのではないか。

(9)薄着の励行は、暑い時にその力を発揮できているように思ういろいろな環境にたえられる体づくりができていた。

(10)“ふじの子スポーツ力くらべ”のネーミングをつけたことにより、保育内容のより一層の充実を図れた。子ども同士の満足感が伝わった一行事である。

(11)増地講師の絵画指導は、着実に子どもと向き合うとりくみや声のかけ方が違ってきている。その成長が作品展でひろうることができた。

令和2年度 事業実績報告書

社会福祉法人 窓 ふじの子第二保育園

1. 園児の確保

(1) 園児数

	定員	組数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	8	1	5	5	5	6	6	6	6	6	6	8	8	8	75
1歳児	11	1	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	143
2歳児	12	1	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	138
3歳児	13	1	11	11	11	12	13	13	13	13	13	13	13	13	149
4歳児	15	1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
5歳児	16	1	15	15	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	185
計	75	6	67	68	68	70	71	71	70	71	71	73	73	73	846

入退所状況 5月1日 1歳児 入園1名
 7月1日 0歳児 入園1名・3歳児 入園1名
 8月8日 3歳児 入園1名
 9月30日 2歳児 退園1名
 11月1日 5歳児 入園1名
 R3年1月1日 0歳児 入園2名

(2) PRの方法

・ホームページで園運営を閲覧し、関心を持って園見学に来られる。園児たちの笑顔や、活動内容(行事、子育て支援、専任講師によるとりくみ)を説明することによって、いろいろな体験をしていることに感心され、是非入園したいという希望がある。在園児の保護者の方より話を聞いて来られる事も多々ありふじの子ホールにも興味を持って来られる方がある。

(3) 入園の方法

・入園申込書を藤井寺市保育幼稚園課に提出。入園決定後当園で保護者面談をし、アレルギ一体質、健康面を詳細に懇談する。特にアナフィラキシーは、命にかかわりますので委託業者の管理栄養士の方にも参加してもらい詳細なうち合わせと同時に乳児の離乳食、ミルクの量・時間の話し合いを持った。その他こだわりの食事内容を持っておられる方にも時間を取り、納得できる話し合いができ、互いに子どもの健康、食べる楽しみを優先に考えた。

2. 教育、研究の推進

(1) 保育目標

・「子どもは宝」の基本理念をどのように理解し、子どもと接することができるのかレポートを提出し、全職員内容をコピー、職員会議で討論した。理事長先生からは、“この年令では無理ではないか”とか副園長先生からも“小集団所属感の有無”と“私とあなた”のくくりで全職員の子どもは宝のとらえ方を示唆していただいた。一度の会議では理解できにくいのが何回かくり返し話し合いをすることによって、“子どもは宝”の基本理念が分かってくるのではないかと思われる。

(2) 教育課題

- ・年3回の指導計画、園評価を話し合い、保育が子どもにとって十分満足感を味わえる生活が送れるよう検討できていた。

(3) 研究課題

- ・今年度は“体育”の充実を図り、保育者の専門性及び保育の質の向上にとりくんだ。体育講師、佐藤津良先生の助言をいただきながら保育者が各年齢に応じたとりくみをした。基本的には、体幹をととのえ怪我をしない体づくりをもとに最高学年5歳児では群れ遊びができ、子どもどうしの話し合いを持つことができていた。

3. 職員構成

	令和2年度	備考
統括園長	1	
園長	1	
主任保育士	1	
保育士	10	うち2名産休代替え 1名8月退職代替え
保育士(パート)	7	うち1名看護師
事務長	1	
事務員(パート)	1	
調理担当	3	業者委託

4. 施設、設備の整備

(1) 教育研究機器、備品

- ・ふじの子ホール使用の電子ピアノ・カーテン・靴箱を整えたことにより使用密度が高くなった。

- ・視力検査機・聴力検査機を保育者自身使いこなすことにより子どももリラックスしてできた。

(2) その他

- ・ゴザ、防災シューズ園児数十分そろえられたので避難訓練が全員参加の体制が整えられた。飲料水は、茶道に使い新鮮な飲み物が提供できるようにした。非常食は、散歩の時のおやつにしたり 防災訓練の時に実践して食べたりして期限切れにならないように注意している。

5. 収支計画

令和2年度補正予算案参照

- (1)延長保育は同じ顔ぶれの園児なので安心して生活している。特に夕方の延長保育児の保護者は疲れてのお迎えなので子どもも帰りをしぶったりする。

- (2)短時間保育児の制度ができ、保育時間変更をすることにより登園時間がスムーズになった。

- (3)子育て支援の活動を通じて集団生活の楽しさを知らせる事ができている。

- (4)絵画、英語、体育、リトミックの専任講師を招へいすることによって子どものいろいろな体験を充実でき、保護者からも感謝の気持ちを伝えられている。

- (5) 基本的な生活習慣を整える環境をつくることにより、子どもたちの体幹が整えることができ、特に“ふじの子スポーツ力くらべ”で成果を発揮することができた。
- (6) 理事長懇談やその他の会議の充実を図ることによって、保育者同士、役割分担の職員とのコミュニケーションセッション力が高まり保育内容が充実した。
- (7) ふじの子保育園の特徴の活動内容のレベルが上がり次のステップに見通しをもてた。
- (8) ふじの子ホールの存在は、このコロナ禍で十分な役割をしている。雨の時でも寒い時でも暑い時でも十分な換気と衛生に配慮しながら子どもたちはしっかりと心身共にたくましく育んでくれたのではないか。
- (9) 薄着の励行は、暑い時にその力を発揮できているように思ういろいろな環境にたえられる体づくりができていた。
- (10) “ふじの子スポーツ力くらべ”のネーミングをつけたことにより、保育内容のより一層の充実を図れた。子ども同士の満足感が伝わった一行事である。
- (11) 増地講師の絵画指導は、着実に子どもと向き合うとりくみや声のかけ方が違ってきている。その成長が作品展でひろうすることができた。